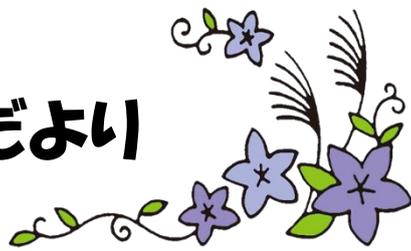




# 9月 ほけんだより



令和7年8月29日  
国富こすもす保育園

暑さがやわらぎ、外遊びの時間が増えてくると、小さなけがも多くなります。9月9日は、「救急の日」です。この機会におうちの救急用品の中身を見直したり、応急処置の方法も学んでおきましょう。

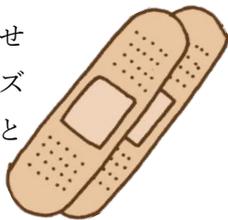


## 救急箱の中身、 チェックしていますか？

救急箱の中身に決まりはありません。普段使うものを、清潔な入れ物に入れておけばOKです。ただし、滅菌ガーゼや薬は使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。**1年に1回は中身をチェックしましょう。**

### □絆創膏

けがをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利です。



### □はさみ

救急箱専用にしておくと衛生的で安心です。

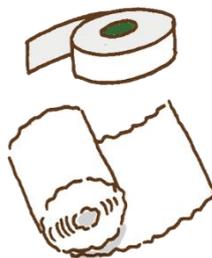


### □体温計



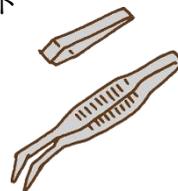
### □ガーゼと医療用テープ

傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう。



### □毛抜きや

ピンセット  
皮膚に刺さったとげを抜いたりするのに使います。



### □常備薬

(虫よけ、かゆみ止め、化膿止めなど)



## 子どもの事故を防ぐヒントは「ヒヤッと」にあり！

子どもがけがをしそうで「ヒヤッとした」ときこそ、次の事故を防ぐチャンスです。「無事よかった」とすませるのではなく、なぜヒヤッとしたのか見直しましょう。

### ① 「ダメ!」「危ない!」 は「そこが危険」のサイン

子どもをしかって制止するよりも、ものの置き場所を変えるなど、子どもが安全に過ごせる環境を整えましょう。



### ② 一度あれば二度、 二度あることは三度ある

危ないと思ったら、必ず理由や経緯を考えましょう。原因がわかれば対策がとれます。対策をしないと、大きな事故につながる危険がそのままです。



### ③ 大人もいっしょに やってみる

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。遊具やおもちゃは、いっしょに遊んで正しい使い方を示します。

